

経営比較分析表（令和6年度決算）

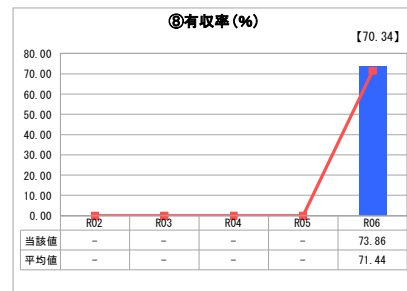
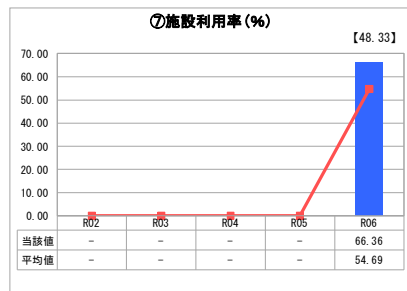
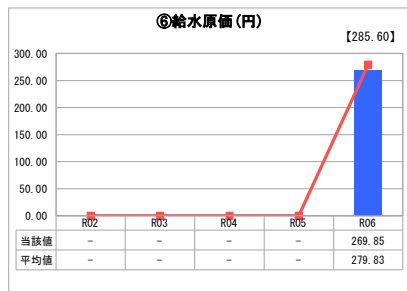
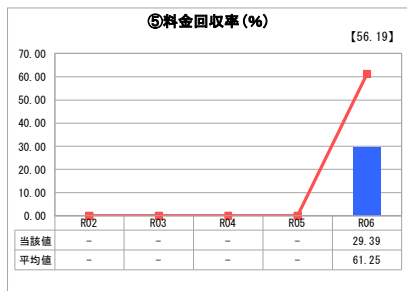
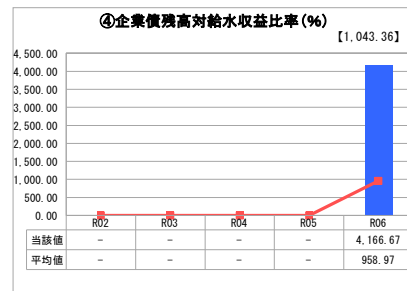
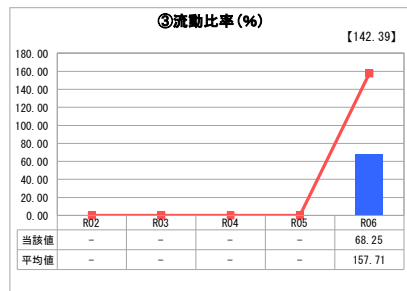
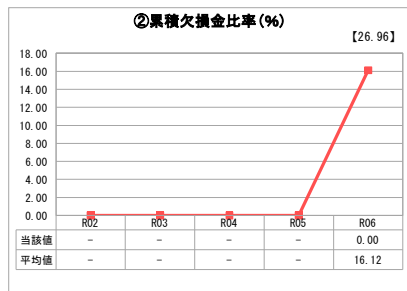
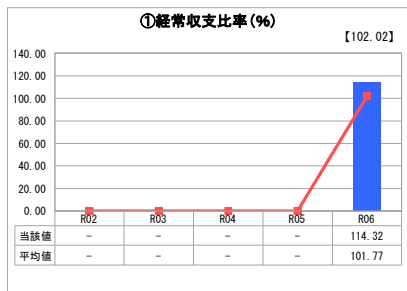
北海道 京極町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	44.30	97.44	990	

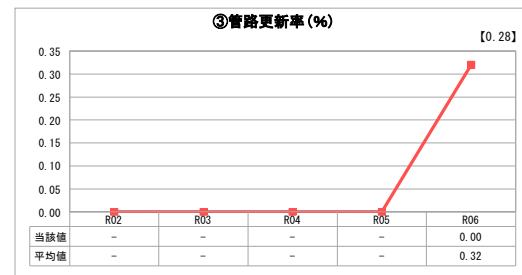
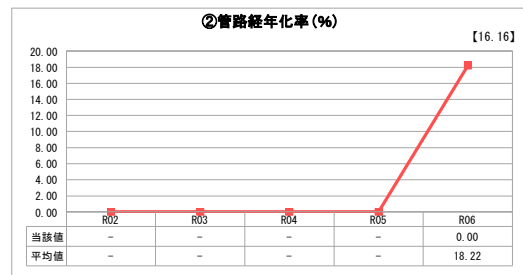
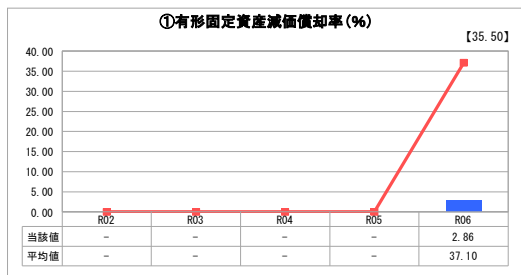
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,776	231.49	11.99
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,668	11.84	225.34

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

京極町の簡易水道事業は令和6年度より公営企業法適用事業となった。

①経常収支比率は平均値を上回っているが、一般会計からの繰入金に依存していることや、従来の町の施策として、安価な料金で水を提供していること、今後料金の適正化に努めるなど改善をしていく必要があると考える。

②流動比率は低い数値となっているが、繰入金等も活用している為、短期支払いに対応できるための現金・預金は確保できている状況である。

③流動比率は平均値以上となっており、今後も施設の稼働状況や現状を把握し、効率的な施設運営に努めていく必要があると考える。

④企業債残高対給水収益比率は令和5年度までの新浄水場新設工事に伴う借入れ等もあり高い数値となっている状況である。

⑤料金回収率は、京極町は平均を下回っているが、上記同様安価な料金で水を提供しているため、料金収益では賄えておらず繰入金で不足分を補っている状況のため、料金の適正化に向けた改善をしていく必要があると考える。

⑥給水原価は、平均値より低くなっているため今後は経常経費の削減や漏水調査等を引き続き実施し有収水量の向上を目指す必要があると考える。

⑦施設利用率は平均値以上となっており、今後も施設の稼働状況や現状を把握し、効率的な施設運営に努めていく必要があると考える。

⑧有収率は平均値より高い数値となっているため引き続き漏水調査等を実施し有収率の向上に努めていく必要があると考える。

2. 老朽化の状況について

ポンプ施設、制御装置など機械設備については耐用年数を迎えているものもあり、故障の都度修繕を行っている。

また、管路についての更新も実施出来ていない状況のため、ポンプ施設だけでなく、管路にも目を向け、長期的な計画に基づく更新等を進めていく必要があると考える。

全体総括

主な課題として、耐用年数を迎える機械設備や管路の更新計画、料金回収率を中心とした水道事業会計の経営の改善が必要である。

また課題への取り組みに対し、長期的な資産管理及び機器の更新等の検討を行っていく必要があると考える。